

# 合同教育研究会議（7月8日開催）議事概要

## 1 開催日時

令和2年7月8日（水）13:00～14:45

## 2 場所

本部棟3階 特別会議室

## 3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、狩野副学長兼研究・地域連携本部長、堀江副学長兼事務局長、猪股教育支援本部長、似鳥学生支援本部長、橋本企画本部長、劉国際教育研究部長、福島看護学部長、高橋社会福祉学部長、亀田ソフトウェア情報学部長、高嶋総合政策学部長、菊池盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）、長谷川委員（学外委員：東北大学未来科学技術共同研究センター長）※web出席

（事務局）吉田総務財務課長（代理出席）、瀬川入試課長（代理出席）、昆教育支援課長（代理出席）、鎌田学生支援室長、藤澤研究・地域連携室長、藤村企画室長、高橋宮古事務局長、八木主幹、鈴木主幹

## 4 会議の概要

### 議事録確認

前回会議6月10日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

### 審議事項

なし

### 協議事項

#### (1) 学長選考会議委員の選出について（資料No.1）

堀江事務局長から資料に基づき、教育研究会議から選出される学長選考会議委員について、岩手県立大学及び盛岡短期大学の学部長の改選に伴う後任者の選出の説明があり、協議の結果、原案のとおり承認された。

### 報告事項（口頭報告）

#### (1) 入試説明会の開催について（資料No.2）

猪股本部長から資料に基づき、県内の高校3年生及びその保護者を対象とした入試説明会の開催することについて報告があった。

#### (2) 岩手県高等学校長協会・岩手県立大学教育懇談会の中止について（資料No.3）

猪股本部長から資料に基づき、開催を延期していた岩手県高等学校長協会・岩手県立大学教育懇談会の開催の中止について報告があった。

(3) 現就活生対象 WEB を活用した企業説明会の実施結果について (資料No.4)

似鳥本部長から資料に基づき、5月27日(水)及び6月10日(水)にWEBを活用して実施した企業説明会の結果について報告があった。

(4) 令和2年度第1回就職支援連絡調整会議の開催結果について (資料No.5)

似鳥本部長から資料に基づき、令和2年度第1回就職支援連絡調整会議の開催結果について報告があった。

(5) 本学の学生の就職活動の状況について (資料No.6)

似鳥本部長から資料に基づき、本学の現就活生、4大学部3年生及び短期大学部1年生の就職活動の状況について報告があり、就職支援について各学部への協力依頼があった。

委員から、就職支援サイトの登録者などが大幅に低下していることに、公務員志望者は影響しているか、学生の就職活動と就職支援サイトの登録状況に乖離はあるかとの質疑があり、これに対し、鎌田室長から、公務員志望者は影響していないこと、乖離の有無は分析中であるが、就職相談の件数は昨年と同時期に比べるとやや少ない印象を受けているとの回答があった。

委員から、就職活動が遅れている要因をどのように分析しているかとの質疑があり、これに対し、鎌田室長から、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって例年どおりの就職活動の開始ができなかったことが大きな要因と思われるが、分析できるデータが少ないため、分析に苦慮しているとの回答があった。また、似鳥本部長から、あくまでも個人的な印象であるが、キャリアセンターへの相談のメールは、遠隔授業期間中でも実習のため登校していた看護学部の4年生からが多く、登校が相談の機会になっているように見受けられ、遠隔授業期間中に登校していなかったことも要因ではないかとの回答があった。

委員から、対面授業になってからの学生の変化として、非常に消極的になっていること、生活のリズムが乱れていることを感じており、就職活動においてもなかなか動かない学生が見受けられるので、教員にはこの学生の変化を意識した学生への就職指導をお願いしたいとの発言があった。

委員から、6月末に国会議員2名が本学を訪れ、新型コロナウイルス感染症に対する影響をメインテーマに学長と意見交換をしたが、来春以降の就職活動についてもかなり意識していたことから、今後は課題が新型コロナウイルス感染拡大対策から次第に就職活動にシフトしていく可能性があり、学内外と議論しながら全学的に対策を講じていく必要が出てくるとの発言があった。

鈴木学長から、学部長においては、学生の背中を押してあげてほしいとの発言があった。

(6) 新型コロナウイルスに関連した相談窓口の対応状況について (資料No.7)

似鳥本部長から資料に基づき、5月18日(月)に学生サポートサロンに設置した「新型コロナウイルスなんでも相談窓口」へのこれまでの相談状況等について報告があった。

鈴木学長から、新型コロナウイルス何でも相談窓口について、学生にはこれから特に経済的な心配があった場合に相談するように周知してほしいとの発言があった。

**(7) 令和2年度科研費の新規採択状況について（資料No.8）**

狩野本部長から資料に基づき、令和2年度の科研費の新規採択状況について報告があった。

鈴木学長から、まずは科研費の申請率を上げることが大切であり、科研費の申請書は、1年に1度自分の教育研究活動を振り返り、来年取り組むことのメモのつもりで書けばよく、最先端の研究でなくても日頃の研究の工夫をまとめる習慣を付けてもらいたいとの発言があった。

委員から、東北大学では部局評価で科研費が重点化された時に、教授が若い人たちを指導して申請率が一気に上がった経緯があるので、習慣付けで申請率は上がると思われるとの回答があった。

委員から、盛岡短期大学部にも科研費の申請率を上げていただきたいとの発言があった。

**(8) 教育研究者総覧の入力・更新について（資料No.9）**

狩野本部長から資料に基づき、教育研究者総覧の公開情報の入力・更新の依頼があった。

委員から、依頼事項は本部から各教員に連絡があるかとの質疑があり、これに対し、藤澤室長から、学部を通じて各教員に連絡したいとの回答があった。

また、委員から、研究者情報システムの更新をしなかった場合のペナルティはあるかとの質疑があり、これに対し、藤澤室長から、現時点でペナルティは考えていないが、全学研究支援費の学会発表旅費の支援が、研究者情報システムの研究業績が過去1年以内に更新されていることを条件としている点で有利不利の扱いはあるとの回答があった。

委員から、依頼する際は、研究者情報システムの更新が全学研究支援費の学会発表旅費支援の条件になっていることを示してほしいとの要望があった。

鈴木学長から、本学の研究に興味を持つ学外の方が、本学の研究を分野別に閲覧できるような工夫について、IRも兼ねて検討してはどうかとの発言があり、これに対し、藤澤室長から、総覧では、検索により分野別に表示をすることは可能であるが、見せ方について研究していきたいとの回答があった。

**(9) 令和元年度卒業年次生アンケートの結果について（資料No.10）**

橋本本部長から資料に基づき、令和元年度卒業年次生アンケートの実施結果について報告があった。

鈴木学長から、岩手県を含む北海道から新潟県までの圏域の出身者は、この圏域内に約80%が就職しており、地元就職推進の点では十分ではないかとの発言があった。

委員から、アンケート結果はキャリアセンターで把握している数値とも傾向が一致しており、今後、様々な指導の際にこのデータを使っていった方がよいとの発言があった。

**(10) 平成31（令和元）事業年度に係る業務の実績に関する報告書について（資料No.11）**

橋本本部長から資料に基づき、県評価委員会に提出した平成31（令和元）事業年度に係る業務の実績に関する報告書について報告があった。

**(11) 新型コロナウイルス感染症に係る学生支援のための寄附金の募集について（資料No.12）**

橋本本部長から資料に基づき、新型コロナウイルス感染症に係る学生支援のための

寄附金を依頼することについて報告があり、教職員分の取りまとめについて、各部局に依頼があった。

鈴木学長から、寄附金の依頼の際は、寄附金募集の案内を見た教職員が、他人の寄附状況を気にすることのないようにしてほしいとの発言があった。

(12) 岩手県立大学デジタルオープンキャンパス 2020 のウェブページ開設について (資料 No.13)

橋本本部長から資料に基づき、岩手県立大学デジタルオープンキャンパス 2020 のウェブページ開設について報告があり、開設に協力いただいた教職員及び学生への謝辞があった。

(13) 令和 2 年度各学部等の自己点検・評価に係る外部有識者の委嘱及び意見交換等について (資料 No.14)

橋本本部長から資料に基づき、令和 2 年度各学部等の自己点検・評価に係る外部有識者の委嘱及び意見交換等の実施について依頼があった。

(14) 第三期中期計画期間における収支ギャップへの対応状況について (資料 No.15)

堀江事務局長から資料に基づき、第三期中期計画期間における収支ギャップを解消する取組の 6 月末の状況について報告があった。

鈴木学長から、第四期中期計画期間に向けて、課題をどうするか検討しなければいけないとの発言があり、堀江事務局長から、毎月の報告は、今後はその都度の状況により報告すること、第四期中期計画期間に向けては、全体の財務フレームを踏まえながらの議論になるが、もう一度課題を洗い出した上で検討する必要があるとの回答があった。

鈴木学長から、働き方改革も含めて検討してほしいとの発言があった。

**報告事項 (資料報告)**

- (1) 令和 3 年度サバティカル研修者の推薦依頼について (資料 No.16)
- (2) 岩手県立大学海外留学支援奨励金の創設について (資料 No.17)
- (3) 令和 2 年度沿岸地区入試相談会の実施について (資料 No.18)
- (4) 令和 2 年度入試オンライン個別相談会の実施について (資料 No.19)
- (5) 令和 2 年度ライブラリー・アテンダントの決定について (資料 No.20)
- (6) 令和 2 年度キャンパス・アテンダントの決定について (資料 No.21)
- (7) 教育アシスタント (TA・SA) の積極的な活用について (資料 No.22)
- (8) 盛岡ターミナルビル株式会社との包括的連携協定の締結について (資料 No.23)
- (9) 国の修学支援新制度に係る機関要件について (資料 No.24)
- (10) 長時間労働による健康障害防止のための保健指導について (資料 No.25)

**その他**

狩野本部長から、公募中の北いわて・三陸地域活性化研究推進事業の締切を 7 月 17 日 (金) としているが、応募の状況が思わしくないことから、締切等は柔軟に対応するので、応募について学部等において周知してほしいとの依頼があった。

委員から、大学祭の開催の有無はいつ決定するかとの質疑があり、これに対し、鎌田室長から、未定であるが、大学祭実行委員会は、規模を縮小しながら開催したいという意向を持っているとの回答があった。

藤村室長から、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、学年暦を変更したこと等を踏まえ、各本部に8月の合同教育研究会議の開催要否を照会していたが、付議が必要な案件はないことを確認したため、例年どおり8月の会議は開催しないこととするとの報告があった。